

## 平成 29 年度第 1 回逗子市スポーツ推進審議会 議事録

- 日時 2017 年（平成 29 年）7 月 5 日（水）午後 3 時～4 時 45 分
- 場所 逗子市役所第 6 会議室
- 出席者 （敬称略、順不同）  
大河内誠（会長）、佐久間健（副会長）、宮川光男、村田祐子、市川明宏
- 欠席者 なし
- 事務局 文化スポーツ課：翁川担当課長、黒羽係長、鈴木主任、森主事補
- 公開の有無 有
- 傍聴人の数 0 人
- 資料  
事前配布資料  
資料 1 平成 28 年度第 3 回逗子市スポーツ推進審議会議事録（案）  
資料 2 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）  
参考資料 1 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）審議会による意見の  
事前送付について  
参考資料 2 逗子市スポーツ推進審議会条例  
参考資料 3 平成 27 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書  
参考資料 4 スポーツの祭典 2016 事業実績報告書  
当日配布資料  
次第  
名簿  
資料 3 平成 28 年度逗子市スポーツ推進計画評価調書（案）  
（審議会委員コメントまで記入）  
参考資料 5 チャレンジデー 2017 結果について
- 記録 森主事補 2017 年（平成 29 年）7 月 5 日記録

### 開会

### 教育長 挨拶

#### 【任命式】

教育長より任命状を手渡した。

神奈川県立逗子高等学校校長 佐久間健 様

公益財団法人逗子市体育協会理事 宮川光男 様

逗子市陸上競技協会副会長 大河内誠 様

逗子市スポーツ推進委員協議会 村田祐子 様  
神奈川県立体育センター生涯スポーツ課長 市川明宏 様

(委員 自己紹介)

佐久間委員、宮川委員、大河内委員、村田委員

(教育長 退室)

## 事務局の紹介

### 定数の確認、資料の確認

#### 事務局

本日は、委員数5名のうち4名の委員の出席をいただいているので、「逗子市スポーツ推進審議会に関する条例」第7条の規定により、会議が成立している。

### 会長副会長の互選

#### 事務局

はじめに、会長の選出を行う。「逗子市スポーツ推進審議会に関する条例」第5条第2項の規定により、会長は委員の互選で定める。

自薦、他薦等、ご意見をお願いしたい。

#### 宮川委員

大河内委員を推薦する。

#### 事務局

大河内委員を会長に推薦してよろしいか。

### 【異議なし】

#### 事務局

特に異論がなかったので、大河内委員に会長をお願いする。大河内会長は、会長席への移動をお願いしたい。

今後の進行は会長をお願いする。

#### 会長

和気あいあいと会議を進行していきたい。

(市川委員、遅参)

(市川委員 自己紹介)

## 会長

副会長の選出を行う。「逗子市スポーツ推進審議会に関する条例」第5条第2項の規定により、副会長は委員の互選で定める。

自薦、他薦等、ご意見をお願いしたい。

特に自薦、他薦等ないので、私から佐久間委員をお願いしたい。佐久間委員を副会長に推薦してよろしいか。

## 【異議なし】

## 会長

特に異論がなかったので、佐久間委員に副会長をお願いする。

次に、前回の議事録の承認をお願いする。平成28年度第3回スポーツ推進審議会議事録(案)について、すでに郵送でお手元に配付されているが、ご異議はあるか。

## 【異議なし】

## 会長

ご異議がなかったので、本議事録(案)を承認する。

## 【議事】

(1) 平成28年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について

## 会長

それでは、議題1「平成28年度逗子市スポーツ推進計画の評価調書について」について、事務局から説明をお願いする。

## 事務局

資料3について1枚ずつ説明するので、委員の皆さまのご意見をいただきたい。

資料3「逗子市スポーツの祭典の開催」について説明。

## 会長

今回は資料の送付を早めをお願いしたい。

「逗子市スポーツの祭典の開催」について皆さまの意見をいただきたい。

事務局の人数が少ないのにイベントは多い。その中で、身の丈に合った実施方法を模索してきたが、市民のニーズは欠かしてはいけない。

## 宮川委員

逗子のスポーツの祭典が他市町村のモデルケースとして拡大していけば良い。

## 市川委員

昨年体育センターで取材をして、HPの取材日記に掲載した。様々な種目を実施していて

とても1日では回りきれない。このまま市民に根付いていければ良い。

#### 会長

市民に浸透してきており、逗子市スポーツ推進計画の基本目標である「健康づくり」「場づくり」「交流づくり」「基盤作り」は軌道に乗ってきている。また、全天候型のイベントを増やすべきという平成27年度の反省は活かされた。

審議会での評価は「B：予定どおり進捗。」でよろしいか。

#### 【異議なし】

#### 事務局

資料3「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について説明。

#### 会長

「スポーツと健康づくりに関する情報の充実と提供」について皆さまの意見をいただきたい。

#### 村田委員

逗子アリーナは閑散としているとは感じない。時間帯によって満遍なく利用されている。

#### 会長

玄関を入れて正面がトレーニングルームであり、とても賑やかである。

#### 村田委員

トレーニングルームには未病センターもあり、結構人がいる。

昼は主婦や定年を迎えている人、夜は仕事帰りの人と時間帯によって利用者層も違う。

#### 会長

トレーニングルームの立地と、未病センターが入っている点が良い。

#### 副会長

部活に入部していない生徒がスポーツをやりたいときには、スマイルに行くことが多い。

去年は逗子高校の体育館の改修があったので、お世話になった。特に池子の森自然公園400mトラックは陸上部が活用させていただいた。

#### 宮川委員

「小学生のためのスポーツ団体一覧」が配付された効果があり、野球経験のない子ども体験入部が少しずつ増加している。また、親の負担は少ないことをアピールしている。

#### 会長

スポーツを子どもにさせたい親は増えているが、親の負担が大きい点が問題である。

#### 宮川委員

以前は野球の好きな子どもが入部していたが、最近は親が子どもにスポーツをさせるようになってきている。

## 市川委員

スポーツ情報を提供することは大事である。何が求められていて、何を発信すれば良いのかをつかむことが重要である。

県のスポーツリーダーバンクを掲載しているのはありがたい。しかし高齢化により、指導者の登録者数は減少傾向である。質の高い指導者を確保して、良い指導者の情報を提供できるようにしなければならない。

## 会長

人材バンクを立ち上げた時は良いが、次第に高齢化していく。

## 宮川委員

高齢になったから登録を取り消すとやりがいを失ってしまう。目的に合った免許の更新制度も良いのではないか。

## 会長

宮地さんは神武寺のトレイルラン等、逗子の活性化につなげている。

平成26年度からの懸念事項を踏まえた逗子のニーズに合った形の情報提供は評価できる。子どもの二極化は永遠のテーマであるが、情報を発信することで取捨選択はできる。

## 会長

審議会での評価は「B：予定どおり進捗。」でよろしいか。

## 【異議なし】

## 事務局

資料3「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について説明。

## 会長

「小・中学校を拠点とした子どもの健康・体力づくり」について皆さまの意見をいただきたい。

部活動に外部指導者が入ると良い影響を与えるが、丸投げはできない。将来的には、対外試合の引率監督もお願いしたい。学校として外部指導者に任せたいことを明確にすべきである。

部活動とクラブチームの二重登録ができないため休部している部活動もあり、部活動の維持すら難しい。逗子もいくつかの学校で部活動を合併する形を取らざるを得ないか。

## 村田委員

高校では技術指導のできる指導者が望ましいが、中学校では地域に住む方が指導すれば、先生の負担は減る。まず始めていくことも重要。

## 副会長

高校では嘱託顧問であれば、引率もできる。先日は学校の立場を尊重しつつ、合宿にも行っていただいた。出張や引率については、このような制度を拡張すれば現場は楽になる。

合同チームについて、練習場の確保や主体の不透明さ、学校単位で出場していないことによるモチベーションの低下等、問題はある。単独チームのほうが生徒たちのモチベーションは上がる。1校1チームの考えは大切である。

外部指導者について、学校の立場を理解して任せられる方が良い。また、外部指導者にも引率の旅費が出るような仕組みが欲しい。

#### **市川委員**

中学校でも高校のような体制が整うと良い。1校1チームが理想であるが、技術指導できる人がいないと難しいので、外部指導者の活用を推進してほしい。

#### **会長**

サポート制度が整えば現場の負担は減る。

#### **宮川委員**

野球について、中学校で部活動ができれば良いが、シニアに行く人も多い。

#### **会長**

学校の現状を理解していただいて、審議会としては希望的な意見を述べさせていただく。審議会での評価は「B：予定どおり進捗。」でよろしいか。

### **【異議なし】**

#### **事務局**

資料3「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について説明。

#### **会長**

「「うみかぜクラブ」の活動内容の充実」について皆さまの意見をいただきたい。

「高齢者体力アップ体操」の参加者は5,869人であり、逗子の人口約58,000人のうち約1割が参加している計算になる。高齢者が増えている逗子だからこそ、自らの健康に目を向けさせる手段の一つとなっている。

#### **村田委員**

逗子は元気な高齢者が多い。うみかぜクラブの「卓球」には多くの高齢者が参加していた。

#### **宮川委員**

高齢者も健康づくりの意識を強く持っている。逗子の高齢者は、運動に積極的であり雰囲気が良い。

#### **副会長**

外部から逗子を見ると、逗子の人々は人生を逗子で一貫するイメージである。

高齢者でも子どもでも生き活きとしており、ライフプランニングが個々に確立している人が多い。また、逗子市民は結束が強い。そのような逗子の市民性を事業やイベントに活かしていければ良い。

## 市川委員

初めて、昨年と今年の評価調書を見たが、とても良くやっているというのが率直な感想である。広報でもスポーツを多く取り上げており、様々な部分で頑張っている。

## 会長

高齢者が元気であると、他自治体に対するモデルケースにもなり好循環となる。第二の人生の見本になる人が増えていけば良い。

審議会での評価は「B：予定どおり進捗。」でよろしいか。

## 【異議なし】

## 会長

評価の今後の予定について、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

本日の審議をもとに、平成28年度逗子市スポーツ推進計画評価調書の「審議会での意見」のまとめ案を事務局で作成し、次回（第2回）会議までに送付する。

第2回会議では、まとめ案について意見をいただき、加筆修正の後、委員の皆さまの最終確認を経て、確定とする。

確定した評価調書は、今年度末までに教育長に報告する。

## （2）その他

## 会長

議題2「その他」について、事務局から説明をお願いします。

## 事務局

### ・チャレンジデー2017について

チャレンジデーは本会議の評価の対象ではないが、文化スポーツ課としては大きいイベントであるため説明する。

参考資料5「チャレンジデー2017 結果について」について説明。

## 会長

結果として負けたのは残念だが、数字にとらわれてはいけない。

逗子は市外へ通勤する人が多いので、事前エントリーも含めた登録の方法を考えたほうが良い。身の丈にあった形で続けていくべき。

ただいまの事務局の説明について、意見・質問等あるか。

## 【意見・質問なし】

**会長**

以上で本日の議事は全て終了した。進行を事務局に戻す。

**事務局**

次回の審議会は、11月を予定している。詳細な日程については、後日調整する。

以上で「平成29年度第1回逗子市スポーツ推進審議会」を閉会する。

◇◇◇終了◇◇◇

以上